



作成 vCenter ドメイン、インターフェイス、およびスイッチのプロファイルの代替手順

インストールする前に設定タスクを実行するための unified 設定ウィザードの使用をお勧め Cisco ACI Virtual Edge。ただし、別の詳細なポリシーを設定する必要がある場合があります。

この付録には、vCenter ドメイン プロファイルとインターフェイスおよびスイッチのプロファイルのさまざまな種類の作成の個々の手順が含まれています。

- [ポート チャネル スイッチ および インターフェイス のプロファイル の作成 \(1 ページ\)](#)
- [GUI を使用した VPC インターフェイス と スイッチ プロファイル の作成 \(3 ページ\)](#)
- [GUI を使用して FEX ノード のインターフェイス と スイッチ プロファイル を作成する \(6 ページ\)](#)
- [インターフェイス ポリシー グループ を変更して vSwitch 側のポリシー をオーバーライド する \(8 ページ\)](#)
- [Cisco ACI Virtual Edge の VMM ドメイン プロファイル の作成 \(10 ページ\)](#)

ポートチャネルスイッチおよびインターフェイスのプロファイルの作成

インストールする前に Cisco ACI Virtual Edge スイッチを作成し、インターフェイスのプロファイル。

始める前に

この手順の d は、手順 4 では、ドロップダウンリストから、リーフ スイッチ ノード ID を選択します。これは、ESXi またはレイヤ 2 クラウド ホストに接続されているリーフ スイッチのノード ID と一致する必要があります。リーフ スイッチ ノード ID を確認します **Fabric Membership** ウィンドウに移動し、 **ファブリック > インベントリ > Fabric Membership** 。

手順

-
- ステップ 1 Cisco APIC にログインします。
- ステップ 2 [Fabric] > [Access Policies] を選択します。
- ステップ 3 ポリシー ナビゲーション ウィンドウでは、展開、**スイッチ** フォルダ、および **リーフ** スイッチ フォルダ。
- ステップ 4 **Profiles** フォルダを右クリックし、**Create Leaf Profile** を選択します。
- ステップ 5 **Create Leaf Profile (STEP 1 > Profile)** ダイアログボックスで、次の手順を実行します:
- [Name] フィールドに、名前を入力します
 - Leaf Selectors** フィールドで、+ アイコンをクリックして、新しいスイッチセクタを作成します。
 - [Name] フィールドに、名前を入力します
 - [Blocks] フィールドで、ドロップダウンリストからリーフ スイッチ ノード ID を選択します。
 - Update** をクリックします。
 - [Next] をクリックします。
- ステップ 6 **Create Leaf Profile (STEP 2 > Associations)** ダイアログボックスの **Interface Selectors Profiles** エリアで、+ アイコンをクリックして、新しいインターフェイスセクタ プロファイルを作成します。
- ステップ 7 **[Create Interface Profile]** ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
- [Name] フィールドに、vLeaf 名を入力します。
 - [Interface Selectors] 領域で、[+] アイコンをクリックして新しいインターフェイスセクタを作成します。
- ステップ 8 **[Create Access Port Selector]** ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
- [Name] フィールドでセクタの名前を入力します。
 - [Interface IDs] フィールドで、ESXi ホストに接続された物理インターフェイスのアクセスポート インターフェイス ID を入力します。
 - [Interface Policy Group] ドロップダウンリストで、[Create PC Interface Policy Group] を選択します。
- ステップ 9 [Create PC Interface Policy Group] ダイアログボックスで、[Name] フィールドにポリシー グループ名を入力します。
- ステップ 10 [Port Channel Policy] フィールドで、ドロップダウンリストから [Create Port Channel Policy] を選択します。
- ステップ 11 [Create Port Channel Policy] ダイアログボックスで、次の手順を実行します:
- [Name] フィールドにポリシー名を入力します。
 - [Mode] フィールドで、次の値の 1 つを選択します。
 - **Static Channel - Mode On**
 - **LACP Active**

- LACP Passive
- MAC Pinning
- MAC Pinning-Physical-NIC-load

(注) VPC リーフ ペアへの直接接続で MAC ピニングを使用しないでください。代わりに、Link Aggregation Control Protocol (LACP) または拡張 LACP を使用して、冗長性と信頼性を提供します。直接接続で MAC ピニングを使用すると、ピア リーフ スwitch の再起動時にトラフィックが失われます。MAC ピニングは、サウスバウンド インターフェイスを使用する Cisco UCS ファブリック インターコネクト など、仮想ポートチャネル (VPC) をサポートできない場合にのみ使用してください。

c) [Submit] をクリックします。`

ステップ 12 [Create PC Interface Policy Group] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

- エンティティ プロファイルの接続されている フィールドで、以前に作成したプロファイルを選択またはドロップダウンリストから 1 つを作成します。
- [Submit] をクリックします。`

ステップ 13 [Create Access Port Selector] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

ステップ 14 [Create Leaf Interface Profile] ダイアログボックスで、[Submit] をクリックします。

ステップ 15 **Create Leaf Profile** ダイアログボックスで、新しいインターフェイス プロファイルを選択し、**Finish** をクリックします。

GUI を使用した VPC インターフェイスとスイッチ プロファイルの作成

手順

ステップ 1 Cisco APIC にログインします。

ステップ 2 [Fabric] > [Access Policies] を選択します。

ステップ 3 **Policies** ナビゲーション ウィンドウで、**Policies** および **Switch** フォルダを展開します。

ステップ 4 **VPC Domain** フォルダを右クリックして、**Create VPC Domain Policy** を選択します。

ステップ 5 [Create VPC Domain Policy] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

- [Name] フィールドにポリシーの名前を入力します。
- [Peer Dead Interval] フィールドに、値を入力します。
範囲は 3 ~ 300 秒です。

c) **Submit** をクリックしてポリシーを保存します。

- ステップ 6** **Policies** ナビゲーション ウィンドウで、**Switches** と **Leaf Switches** フォルダを展開し、**Profiles** フォルダを右クリックし、**Create Leaf Profile** を選択します。
- ステップ 7** **Create Leaf Profile** ダイアログボックスで、次の手順を実行します:
- Name** フィールドに、プロファイルの名前を入力します。
 - Leaf Selectors** エリアで、+ アイコンをクリックします。
 - Name** フィールドに、セレクトタの名前を入力します。
 - Blocks** ドロップダウンリストから、ポリシー グループに関連付けるリーフを選択します。
 - Update** をクリックします。
 - [Next] をクリックします。
- ステップ 8** **Create Leaf Profile** ダイアログボックスの **Interface Selector Profiles** エリアで、+ アイコンをクリックします。
- ステップ 9** **Create Leaf Interface Profile** ダイアログボックスで、次の手順を実行します:
- [Name] フィールドに、プロファイルの名前を入力します。
 - [Interface Selectors] 領域で、[+] アイコンをクリックします。
- ステップ 10** [Create Access Port Selector] ダイアログボックスで、次のアクションを実行します。
- Name** フィールドに、セレクトタの名前を入力します。
 - Interface IDs** フィールドに、範囲の値を入力します。
 - Interface Policy Group** ドロップダウンメニューで、ドロップダウンリストから **Create VPC Interface Policy Group** を選択します。
- ステップ 11** **Create VPC Interface Policy Group** ダイアログボックスで、次の手順を実行します:
- Name** フィールドにポリシー グループの名前を入力します。
 - Port Channel Policy** ドロップダウンメニューで、ドロップダウン リストから **Create Port Channel Policy** を選択します。
- ステップ 12** [Create Port Channel Policy] ダイアログボックスで、次のアクションを完了します。
- [Name] フィールドにポリシーの名前を入力します。
 - [Mode] フィールドで、次のオプションのうちセットアップに適したものを 1 つ選択します。
 - **Static Channel - Mode On**
 - **LACP Active**
 - **LACP Passive**
 - **MAC Pinning**
 - **MAC Pinning-Physical-load**

(注) VPC リーフ ペアへの直接接続で MAC ピニングを使用しないでください。代わりに、Link Aggregation Control Protocol (LACP) または拡張 LACP を使用して、冗長性と信頼性を提供します。直接接続で MAC ピニングを使用すると、ピア リーフスイッチの再起動時にトラフィックが失われます。MAC ピニングは、サウスバウンドインターフェイスを使用する Cisco UCS ファブリック インターコネクトなど、仮想ポートチャネル(VPC)をサポートできない場合にのみ使用してください。

c) **Submit** をクリックします。

ステップ 13 [Create VPC Interface Policy Group] ダイアログボックスで、次のアクションを実行します。

a) [Attached Entity Profile] フィールドで、ドロップダウンリストから [default] を選択します。

接続可能エンティティプロファイルを新規作成して、ノードポリシーの作成後にポリシーをオーバーライドできます。これを行う必要がある状況としては、Cisco ACI Virtual Edge を実行している ESXi ホストとリーフの間に中間レイヤー 2 デバイスがある場合や、ファブリック側で LACP およびトップオブブラック (ToR) スイッチ/リーフを使用する一方で、Cisco ACI Virtual Edge 側で MAC ピン接続などの別のポリシーを使用する場合などがあります。

b) [**Submit**] をクリックします。

ステップ 14 [Create Access Port Selector] ダイアログボックスで、[**OK**] をクリックします。

ステップ 15 **Create Leaf Interface Profile** ダイアログボックスで、**Submit** をクリックします。

ステップ 16 **Create Leaf Profile** ダイアログボックスで、次の手順を実行します:

a) [Interface Selector Profiles] 領域で、ステップ 9 a で作成したインターフェイス セクタ プロファイルのチェックボックスをオンにします。

b) [**Finish**] をクリックします。

ステップ 17 VPC に 2 番目のリーフを追加するには、次の手順を実行します。

a) ステップ 1 ~ 10 b を繰り返します。ただし、ステップ 7 b では、他のリーフのノード ID を入力します。

b) **Create Access Port Selector** ダイアログボックスで、手順 11 a で作成したポリシー グループの名前を選択します。

c) [**OK**] をクリックします。

d) ステップ 15 および 16 を繰り返します。

ステップ 18 **Policies** ナビゲーション ウィンドウで、**Policies** および **Switch** フォルダを展開します。

ステップ 19 **Virtual Port Channel default** を右クリックして、**Create VPC Explicit Protection Group** を選択します。

ステップ 20 [Create VPC Explicit Protection Group] ダイアログボックスで、保護グループの名前、ID、スイッチの値を入力します。**Submit** をクリックして、保護グループを保存します。

(注) リーフスイッチの各ペアには、固有 ID を有する VPC 明示保護グループが 1 つあります。

- (注) 同一の仮想ポート チャンネル ポリシーには、複数の VPC 明示保護グループを含めることができます。

GUI を使用して FEX ノードのインターフェイスとスイッチ プロファイルを作成する



- (注) リーフに直接接続している FEX がある場合には、本ガイドのトポロジの付録の「シスコ ファブリック エクステンダ」のセクションで、制限について参照してください。

始める前に

この手続きの手順4では、FEXに接続されるリーフスイッチのノードIDをドロップダウンリストから選択します。これは、ESXiまたはレイヤ2クラウドホストに接続されているリーフスイッチのノードIDと一致する必要があります。[ファブリック (Fabric)] > [インベントリ (Inventory)] > [ファブリック メンバーシップ (Fabric Membership)] に移動して、[ファブリック メンバーシップ (Fabric Membership)] ウィンドウでリーフスイッチノードIDをチェックします。

手順

- ステップ1 Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) にログインします。
- ステップ2 [Fabric] > [Access Policies] を選択します。
- ステップ3 **Policies** ナビゲーション ウィンドウで、**Switches** と **Leaf Switches** フォルダを展開します。
- ステップ4 **Profiles** フォルダを右クリックして、**Create Leaf Profile** を選択します。
- ステップ5 **Create Leaf Profile STEP 1 > Profile** ダイアログボックスで、次の手順を実行します。:
 - a) [Name] フィールドに、プロファイルの名前を入力します。
 - b) **Leaf Selectors** フィールドで、+ アイコンをクリックします。
 - c) [Name] フィールドに、名前を入力します
 - d) [Blocks] フィールドで、ドロップダウンリストからFEXに接続されるリーフスイッチノードIDを選択します。
 - e) [Blocks] ドロップダウン矢印または [Create Switch Profile] ダイアログボックスのどこかをクリックすると、[Update] ボタンを表示できます。
 - f) **Update** をクリックします。
 - g) [Next] をクリックします。

- ステップ 6** **Create Leaf Profile STEP 2 > Associations** ダイアログボックスの **Interface Selectors Profiles** エリアで、+ アイコンをクリックして、新しいインターフェイス セレクタ プロファイルを作成します。
- ステップ 7** **Create Leaf Interface Profile** ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
- [Name] フィールドに、vLeaf 名を入力します。
 - [Interface Selectors] 領域で、[+] アイコンをクリックして新しいインターフェイス セレクタを作成します。
- ステップ 8** **[Create Access Port Selector]** ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
- Name** フィールドでセレクタの名前を入力します。
 - [Interface IDs] フィールドで、FEX に接続されているリーフ上のアクセス ポート インターフェイス ID を入力します。
 - [Connected To Fex] チェックボックスをオンにします。
 - [FEX Profile] ドロップダウン リストから、[Create FEX profile] を選択します。
- ステップ 9** **Create FEX Profile** ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
- [Name] フィールドに、FEX プロファイルの名前を入力します。
 - [FEX Access Interface Selectors] 領域で、[+] アイコンをクリックして FEX アクセス ポートを指定します。
- ステップ 10** **[Create Access Port Selector]** ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
- [Name] フィールドに、セレクタの名前を入力します。
 - [Interface IDs] 領域で、Cisco ACI Virtual Edge をホストしている ESXi サーバに接続されている FEX 上のアクセス ポートを指定します。
 - Interface Policy Group** エリアで、ドロップダウン リストからインターフェイス オプションを選択します。
- Create PC Interface Policy Group、Create VPC Interface Policy Group、または Create Leaf Access Port Policy Group** のいずれかを選択できます。
- ステップ 11** ステップ 10 c で選択したオプション ダイアログボックスで、次の手順を実行します:
- [Name] フィールドに、アクセス ポリシーのグループ名を入力します。
 - [Attached Entity Profile] 領域で、適切な接続されたエンティティ プロファイルを選択します。
 - Submit** をクリックします。
- ステップ 12** **Create Access Port Selector** ダイアログボックスで、新たに作成されたアクセス ポート ポリシーグループが **Interface Policy Group** エリアに表示されていることを確認し、**OK** をクリックします。
- ステップ 13** **Create FEX Profile** ダイアログボックスで、新たに作成された FEX アクセス インターフェイスセレクタ プロファイルが **FEX Access Interface Selectors** エリアに表示されていることを確認し、**Submit** をクリックします。
- ステップ 14** **[Create Access Port Selector]** ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
- 新しく作成された FEX プロファイルが **FEX Profile** エリアにに表示されていることを確認します。

- b) **FEX ID** フィールドに ID を入力します。
- c) [OK] をクリックします。

ステップ 15 Create Leaf Interface Profile ダイアログボックスで、リーフ側インターフェイス ポートセクタ プロファイルがあることを確認して、**Submit** をクリックします。

ステップ 16 Create Leaf Profile STEP 2 > Associations ダイアログボックスの **Interface Selector Profiles** エリアで、FEX 用に作成したインターフェイスセクタ プロファイルのチェック ボックスをオンにして、**Finish** をクリックします。

次のタスク

FEX ノード ポリシーの設定が成功したことを確認する必要があります。ただし、Cisco APIC が設定を完了するまで 10 分程度待つ必要があります。

FEX ノード ポリシーの設定を確認するには、Cisco APIC GUI で以下の手順を実行します。

1. **Fabric > Inventory** を選択します。
2. **Inventory** ナビゲーション ウィンドウで、FEX ノード プロファイルが作成されたリーフ ノードを含むポッドのフォルダを展開します。
3. リーフ ノードのフォルダのアイコンをクリックします。
4. **Fabric Extenders** フォルダを選択します。
5. **Fabric Extenders** 作業ウィンドウで、FEX が存在することを確認します。

インターフェイス ポリシー グループを変更して vSwitch 側のポリシーをオーバーライドする

ノード ポリシーを作成後、独自のアタッチ可能なエンティティ プロファイルを作成することが必要となる場合があります。このことは、リーフと Cisco ACI Virtual Edge を実行している ESXi ホストの間に、中間レイヤ 2 デバイスが存在している場合に必要となります。このようなデバイスとしては、Cisco Nexus 5000/7000 シリーズ スイッチやブレードサーバ (Unified Computing System [UCS]) があります。

オーバーライドにより、中間デバイスのため、および Cisco ACI Virtual Edge ホスト アップリンクのために独立したリンク ポリシーを設定することが可能になります。たとえば、UCS ファブリック インターコネクタが ACI に接続されていて、Cisco ACI Virtual Edge ホストが UCS ブレード上で動作している場合には、ポート チャネル ポリシーを使用している FI チャネルごとに UCS ファブリック インターコネクタ アップリンクを設定しながら、UCS ブレードのホスト vNIC は MAC ピニングを使用して別個に設定できるようにすることが必要なことがあるかもしれません。



- (注) 次の両方に該当するときには vSwitch ポリシーを選択する必要がある場合があります;
- vSwitch をホストする ESXi サーバが、レイヤ 2 スイッチまたはブレードサーバを介してリーフに接続されている。
 - レイヤ 2 デバイスと ESXi サーバによってホストされる vSwitch 間のインターフェイスグループポリシーが、レイヤ 2 スイッチとリーフ間のインターフェイスグループポリシーと異なっている必要があるネットワークである。ポリシーには、ポートチャネル、Cisco Discovery Protocol (CDP)、Link Layer Discovery Protocol (LLDP)、スパニングツリープロトコル (STP) およびファイアウォールが含まれます。

始める前に

- カスタムのアタッチ可能なエンティティプロファイルを作成する前に、VMware vCenter ドメインを作成する必要があります。詳細については、このガイドの [Cisco ACI Virtual Edge の VMM ドメインプロファイルの作成 \(10 ページ\)](#) のセクションを参照してください。



- (注) vCenter ドメインを作成するには、アタッチ可能なエンティティプロファイルを選択する必要があります。ただし、まだ存在しない場合には、**Attachable Entity Profile** フィールドを空白のままにするか、デフォルトを選択します。カスタムプロファイルを作成した後で、それを vCenter ドメインに関連付けることができます。

- [ファブリック (Fabric)] > [アクセス ポリシー (Access Policies)] > [インターフェイス (Interfaces)] > [リーフインターフェイス (Leaf Interfaces)] > [プロファイル (Profiles)] で、ポートセレクタを持つ適切なインターフェイスプロファイルが作成されていることを確認します。後ほどポートをオーバーライドポリシーに関連付けます。
- vCenter ドメイン用に vSwitch ポリシーを設定しておく必要があります。

手順

- ステップ 1 Cisco APIC にログインします。
- ステップ 2 **Fabric > Access Policies** を選択します。
- ステップ 3 **Policies** ナビゲーションウィンドウで、**Policies** および **Global** フォルダを展開し、**Attachable Access Entity Profiles** フォルダを右クリックして、**Create Attachable Access Entity Profile** を選択します。
- ステップ 4 **Create Attachable Access Entity Profile, Step 1 > Profiles** ダイアログボックスで、次の操作を実行します:
 - a) [Name] フィールドに、プロファイルの名前を入力します。

- b) [Enable Infrastructure VLAN] チェックボックスをオンにします。
- c) [+] アイコンをクリックして [Domains] を展開し、アタッチ可能なエンティティ プロファイルに関連付ける VMM ドメインを追加します。
- d) **Update** をクリックします。
- e) [Next] をクリックします。

ステップ 5 **Create Attachable Access Entity Profile, Step 2> Association to Interfaces** ダイアログボックスで、アタッチ可能なエンティティプロファイルと関連付ける必要のあるインターフェイスポリシーグループを選択します。

(注) 各インターフェイス ポリシー グループに対して、[All] または [Specific] オプション ボタンを選択できます。 **All** ラジオ ボタンは、インターフェイス ポリシー グループからのすべてのインターフェイスを、アタッチ可能なエンティティプロファイルに関連付けます。 **Specific** ラジオ ボタンは、特定のノードからの特定のインターフェイスを関連付けます。インターフェイス ポリシー グループに対し **Specific** オプション ボタンを選択すると、スイッチ ID とインターフェイスを指定し、その後、**Update** ボタンをクリックするように求められます。

ステップ 6 [Finish] をクリックします。

ステップ 7 **Virtual Networking > Inventory** に移動します。

ステップ 8 左側のナビゲーション ウィンドウで、**VMM Domains** および **VMware** フォルダを展開し、関連する VMM ドメインを選択します。

ステップ 9 作業ウィンドウで、**VSwitch Policy** タブをクリックします。

ステップ 10 [vSwitch policy] ドロップダウン リストから、オーバーライド ポリシーとして適用するネットワーク ポリシーを選択します。

ステップ 11 [送信 (Submit)] をクリックします。

Cisco ACI Virtual Edge の VMM ドメイン プロファイルの作成

Cisco アプリケーション セントリック インフラストラクチャ (ACI) 仮想 Edge をインストールする前に、そのための VMM ドメインを Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) で作成する必要があります。



- (注) Cisco ACI Virtual Edge エンドポイント グループのアップリンクを設定するには、次の手順を使用します。[ファブリック (**Fabric**)] タブの設定ウィザードを使用して Cisco ACI Virtual Edge VMM ドメインを作成する場合は、アップリンクを設定できません。ただし、Cisco ACI Virtual Edge をすでに作成している場合は、アップリンクを追加できます。「[Cisco ACI 仮想化ガイド、リリース 4.2 \(x\)](#)」の手順「VMM ドメインの編集とアップリンクの変更」を参照してください。

始める前に

- マルチキャスト IP アドレス プールに、VMware vCenter ドメインにパブリッシュされる EPG 数に対応するのに十分なマルチキャスト IP アドレスがあることを確認します。VMware vCenter ドメインにすでに関連付けられているマルチキャスト アドレス プールに IP アドレスをいつでも追加できます。
- 十分な VLAN ID があることを確認します。これを行わないと、ポートの EPG がカプセル化を使用できないと報告することがあります。
- VMware vCenter がインストールおよび設定されており、インバンド/アウトオブバンド管理ネットワークを介して到達可能である必要があります。
- VMware vCenter に対する管理者/ルートのクレデンシャルがあることを確認します。
- インターフェイスおよびスイッチのプロファイルを作成します。手順については、このガイドの「ポート チャンネル スイッチおよびインターフェイス プロファイルの作成」を参照してください。
- (オプション) アタッチ可能なエンティティ プロファイル (AEP) を作成します。

vCenter ドメイン プロファイルの作成中には、AEP を選択するかまたは作成するように求められます。事前に 1 つ作成する場合には、[『Cisco ACI Virtual Edge Configuration Guide』](#)の「Configuring an Attachable Entity Profile Using the GUI」に記されている手順に従ってください。



(注) Cisco ACI Virtual Edge VMM ドメインに割り当てられた AEP 内のインフラストラクチャ VLAN を有効にします。これは、VMware vCenter ドメイン プロファイルの作成前または作成中に AEP を作成するかどうかに関係なく実行します。**Create Attachable Access Entity Profile** ダイアログボックスで、**Enable Infrastructure VLAN** チェック ボックスをオンにします。

手順

- ステップ 1 Cisco APIC にログインします。
- ステップ 2 [仮想ネットワークング (Virtual Networking)] > [インベントリ (Inventory)] に移動します。
- ステップ 3 [Inventory] ナビゲーション ウィンドウで、**VMM Domains** を展開し、**VMware** を右クリックし、**Create vCenter Domain** を選択します。
- ステップ 4 **Create vCenter Domain** ダイアログボックスで、次の手順を実行します:
 - a) **Virtual Switch Name** フィールドに名前を入力します。
 - b) **Virtual Switch Area** で、**Cisco AVE** を選択します。

Cisco AVE を選択すると、Cisco ACI Virtual Edge のための VMM ドメインが作成されます。

(注) VMware vSphere Proactive HA を使用する場合は、次の 2 つのサブステップを実行します。Cisco APIC は VMware vCenter に、動作していない Cisco ACI Virtual Edge を持つホストを隔離し、動作している Cisco ACI Virtual Edge を持つホストに VM を移動するように指示します。この機能は、Cisco ACI vPod の一部として Cisco ACI Virtual Edge を使用することはできません。

また、VMware vCenter で Proactive HA を有効にする必要があります。このガイドの付録「[VMware vSphere Proactive HA を使用して Cisco ACI 仮想エッジ可用性を改善する](#)」を参照してください。

- c) [AVEタイムアウト時間 (秒) (AVE Time Out Time (seconds))] セレクタを使用して、VMware vCenter をトリガーして、非稼働状態の Cisco ACI Virtual Edge を持つホストを隔離し、ホストから VM を移動する期間を選択します。

10 – 300 秒の範囲で任意の値を選択できます。デフォルトは 30 秒です。

- d) [ホスト可用性保証 (Host Availability Assurance)] チェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにすると、VMware vCenter に VMware Proactive HA オブジェクトが作成されます。このオブジェクトを使用すると、VMware vCenter が非稼働の Cisco ACI Virtual Edge を持つホストを検疫し、ホストから VM を移動できます。

(注) 稼働していない Cisco ACI Virtual Edge を持つホストを検疫するには、vCenter で VMware Proactive HA をアクティブ化する必要があります。

- e) [Switching Preference] 領域で、[No Local Switching] または [Local Switching] を選択します。

スイッチングの設定については、[Cisco ACI Virtual Edge とは](#) のセクションを参照してください。本ガイドの「概要」の章にあります。

(注) **No Local Switching** を選択した場合に使用できるのは、VXLAN カプセル化だけです。

- f) ステップ 4f で [ローカル切り替え (Local Switching)] を選択した場合には、[デフォルトの Encap モード (Default Encap Mode)] エリアでモードを選択します。

VLAN mode または **VXLAN mode** を選択できます。同じ VMM ドメイン内で両方のカプセル化方式を使用することもできます。『[Cisco ACI Virtual Edge Configuration Guide](#)』の「Mixed-Mode Encapsulation Configuration」のセクションを参照してください。

- g) **Associated Attachable Entity Profile** ドロップダウンリストで、プロファイルを作成するか、以前に作成したものを選択します。

手順については、『[Cisco ACI Virtual Edge Configuration Guide](#)』の「Configuring an Attachable Entity Profile Using the GUI」を参照してください。

- h) [VLAN Pool] ドロップダウン リストで、VLAN プールを選択するか作成します。

Cisco ACI Virtual Edge を混合モードまたは VLAN のモードで展開する場合には、2 つの VLAN プールを作成します。1 つはプライマリカプセル化のため、もう 1 つはプライベート VLAN の実装のためです。プライベート VLAN プールの役割は内部である必要があります。

ます。Cisco ACI Virtual Edgeプライベート VLAN プールが必要なだけ VXLAN モードで展開されます。

- i) **[AVE ファブリックワイド マルチキャスト アドレス (AVE Fabric-Wide Multicast Address)]** フィールドで、アドレスを入力します。
- j) **Pool of Multicast Addresses (one per-EPG)** ドロップダウンリストで、プールを選択するか作成します。
- k) **[vCenter クレデンシヤル (vCenter Credentials)]** エリアで **[+]** (プラス) アイコンをクリックし、**[vCenter クレデンシヤルの作成 (Create vCenter credential)]** ダイアログ ボックスで次の手順に従います。**[名前 (Name)]** フィールドに VMware vCenter アカウント プロファイル名を入力し、**[ユーザー名 (Username)]** フィールドに VMware vCenter ユーザ名を入力し、VMware vCenter のパスワードをの入力と確認入力を行ってから、**[OK]** をクリックします。
- l) **[vCenter]** エリアで **[+]** (プラス) アイコンをクリックし、**[vCenter コントローラの作成 (Create vCenter Controller)]** ダイアログ ボックスで次の手順に従います。VMware vCenter コントローラ名、VMware vCenter のホスト名か IP アドレス、DVS のバージョン、データセンター名 (VMware vCenter で設定されたデータセンター名と一致している必要があります) を入力し、前の手順で作成したクレデンシヤルを選択して、**[OK]** をクリックします。

DVS バージョン 5.5 以降を選択できます。

(注) 同じドメインに複数の vCenter コントローラを作成できます。さらに vCenter コントローラを作成する場合は、新しい vCenter コントローラごとにこのサブステップを繰り返します。

- m) **Create vCenter Domain** ダイアログボックスで **Submit** をクリックします。
VMware 作業ウィンドウには、新しく作成された VMM ドメインが表示されます。これは VMware vCenter にプッシュされます。
- n) **[アップリンクの数 (Number of Uplinks)]** ドロップダウン リストから、仮想スイッチ アップリンク ポート グループへのアップリンクの数を選択します。
最大 32 個のアップリンクを仮想スイッチアップリンク ポート グループに関連付けることができます。この手順は任意です。値を選択しない場合、デフォルトで 8 つのアップリンクがポートグループに関連付けられます。VMM ドメインの作成が完了したら、アップリンクに名前を付けることができます。EPG の VMM ドメインの関連付けを作成または編集するときに、アップリンクのフェールオーバーを設定することもできます。
- o) **ポート チャネル モード、vSwitch ポリシー**、およびその他の機能を設定に応じて設定します。

vSwitch ポリシー内のポート チャネル ポリシーは、サポートされるトポロジ要件に一致するように正しく設定する必要があります。

次のタスク

- VMware vCenter の vSphere Web クライアントを使用して、新たに作成された Cisco ACI Virtual Edge DVS に、1 つ以上の ESXi ホストとその PNIC を追加します。
- VMware vCenter で vSphere Proactive HA をまだ有効にしていない場合は、有効にします。
- アップリンクの名前を変更するか、それらのフェールオーバーを設定します。